

こんにちはは **日本共産党** いのくま正一です

区政報告

No. 14

2002年1月

日本共産党港区議団

〒105-8511
港区芝公園1-5-25
TEL 3578-2945
FAX 3578-2947
Eメール minakugidan@minifty.com

区民の運動で都バス路線一部が延伸 品川車庫～東京タワー間が赤羽橋～中の橋まで

十一月末、都交通局からくぼた前都議に「区民要望が強くある路線の確保を検討している」と連絡がありました。それは、品川車庫前品川駅～浜松町～東京タワー（浜95）の路線を赤羽橋～中の橋～東京タワー間を延伸するものです。概ね一時間に一本の運行を計画しています。都交通局は、三月上旬の開設に向け手続きを進めています。

地上までのバリアフリーに向け頑張ります
御成門駅にエレベータ設置
年度内には完成予定

いのくま区議は、昨年三月の予算特別委員会で、「御成門駅をはじめ、区内すべての駅にエスカレーターなどの設置を」と質問。これに対し、担当課長は、「営団・都交通局に要望する」と答え、関係機関との協議がはじまりました。また、芝病院に入院する患者さん達が、「御成門駅にエレベータ、エスカレーターの設置を」の都議会への請願を一昨年十二月に提出。

十一月末、都交通局からくぼた前都議に「区民要望が強くある路線の確保を検討している」と連絡がありました。それは、品川車庫前品川駅～浜松町～東京タワー（浜95）の路線を赤羽橋～中の橋～東京タワー間を延伸するものです。概ね一時間に一本の運行を計画しています。都交通局は、三月上旬の開設に向け手続きを進めています。

政府・与党がまとめた「医療制度改革大綱」は、サラリーマン本人の患者負担を現行2割を3割に引き上げ、毎月の健康保険料も値上げ、老人医療は現行70歳以上1割は存続したもの、通院の負担上限廃止など、国民全体に負担を



パネルも使い質問。いのくま区議

国民大負担増（国民一方損）
医療改悪反対の意見書提出

昨年六月の都議会でも、日本共産党のくぼた光都議（当時現職）や他党派も紹介議員となり主旨採択しました。いのくま区議は、昨年十一月の決算委員会でも質問。担当課長は、「十二月中旬頃から、（御成門駅）ホームから改札までのエレベータ工事ははじまります」と答えました。都交通局によると今年三月ごろには利用できるようになります。

また、二〇〇一年二月には港区老人クラブ連合会も「廃止された都バス路線の復活を求める陳情」を都に提出しました。

ぶせ、将来不安も広がり、景気がさらに悪化します。都内で働くAさんの場合、脳梗塞で毎月一回通院し、現在の医療費は一回二六〇〇円、

年間三万二二〇〇円。これが三割負担になると四万六八〇〇円になり、保険料と合わせると年間六万三〇五五円もの負担増になります。肺炎で二週間入院したBさんののは、二割負担では五万五三〇〇円でした。それが三割になると、七万五八〇〇円。保険料と合わせ五万六四七〇円の負担増です。

保護者も願っている、保育園の運動会の土日開催を

質問＝運動会を土日で開催せよ
答弁＝その方向で検討する

保育園の運動会は、平日に行われています。保護者からも「平日ですと仕事を休まなければなりませんし、参加したくても休めない場合もあります。土日の開催を検討してください」と言う土日開催の要望も区に寄せられています。

共産党議員団は、決算審議の質問で、運動会の土日開催を保護者の声も紹介し求めました。保育課長は、「土日開催の要望があることは承知している。その方向で検討していく」と答えました。

「三方一両損」はまやかして負担がかかるのは患者、保険者で、国と製薬会社は何の損もしません。いのくま議員は、決算委員会で医療改悪反対の意見書提出を提案しました。これがまとまって、国などへ意見書を提出しました。

無料なんでも相談会

毎月
第2木曜日（株）きかんし 18時より
第3木曜日 芝病院 18時30分より
事前にご予約ください。

（1月はお休みです。お急ぎの方はご連絡ください）

介護保険の軽減要件、三百萬円の枠をはずせ 一番収入の低い老齢福祉年金者も軽減せよ

一〇月から区が実施した介護保険の軽減は多くのハードルがあります。その中で、貯金が三〇〇万円以上あると対象になりません。

高齢者の方々は、ひとたび入院すれば月何十万円もかかり、医療の改善、年金も先行きわからない、マル優も廃止されそう、お葬式も子ども達に迷惑をかけたくない、こういう思いで、節約しながら蓄えているのです。

自らの生活を切り詰め、老後を自らの責任で守ろうとが金収入です。

浜二用地と国際興業用地の交換問題

国際興業の「お願い」は聞き 区民の声は聞かない

党議員団は芝公園の民間が所有している土地を、国や都の補助や交付金を活用して取得することを一貫して提案・要求してきました。ところが区は真剣な努力もせず、国際興業用地との交換を意思決定してしまいました。

昨年八月三〇日に国際興業から「用地交換のお願い」が区に出されると、その六日後に区は、交換のための作業をはじめ、さつさと交換の意思を決めてしまいました。しかも子ども達が野球やサッカーで使っている少年運動広場を代替地の検討もなしに廃止するなど、少年サッカー関係団体からも練習場も大会会場も一体どうしてくれるのか。と怒りの声が上がっています。

決審審議では、港区も「浜松町2丁目区有地は区民の財産」だと答えました。ところが、その財産をどう活用したら良いかについて、区民には一度も聞いていないのです。「各種アンケートで聞いた」とか「ホームページを通じて



子ども達が元気に飛び回る浜2運動広場

また、第一段階の老齢年金受給者の軽減策の実施についても質問しました。

今回軽減策の対象者になる方は、百十一万円ぐらいの年

んばって蓄えた貯金に、区があれこれいう権限はありません。三百萬円の要件をなくすよう要求しました。しかし、区長は「他の自治体と比較しても妥当な額であることから、要件をはずすことは考えていません。」と冷たく拒否しました。

また、第一段階の老齢年金受給者の軽減策の実施についても質問しました。

意見や「交換により、整備・開放する芝公園のイメージなどについて、みなさんの意見や感想を」と聞いているだけです。

意見や「交換により、整備・開放する芝公園のイメージなどについて、みなさんの意見や感想を」と聞いているだけです。

また、国際興業から「お願い」があつて交換問題が急展開したのだから、「広報」を訂正し、「お願い」文書を書きと質問しました。区長はそのつもりはない、と聞く耳を持っていません。

旧神明小学校跡地の住宅建設 子育て世代が住める区民向け住宅の検討始まる

区民の住宅要望は強いものがあります。毎年区が実施している世論調査では、「住宅の確保・充実」が常に上位を占め、特に20代、30代での住宅要望が強くなっています。生まれ育った港区、親のそばに住みたい、引き続き港区に住みたい、港区でなんとかしてもらいたいという気持ちの表れです。

我がが一貫して提案している、シティハイツ桂坂では、現段階で、家賃収入や補助金などを元に、30年間の収支をみると、3億3千万円の赤字になる計算です。シティハイツ桂坂の手法を活用すれば、一般財源を使わずに住宅建設ができ、比較的

安い家賃に抑えることが可能です。神明小学校跡地に計画している住宅を子育て世代が住める区営住宅など低い家賃の住宅とするべきだと質問しました。

これに対して区は「ファミリー世帯を中心として人たちが住みやすい住宅環境の整備が必要。そのため、旧神明小学校跡地に区民向け住宅を建設することとした」と答えました。

党区議員団が要求してきた、区民向け住宅計画が進むことになりました。現時点で区は150戸を検討しています。区民のみなさんの要望など、区へお寄せください。

環二計画は、住民へ情報をしっかり提出せよ

昨年十一月の時点で、権利者総数五四〇件のうち、転出者一五七件、入居一三〇件です。半数以上の方が転出と言います。都に対して一重大事な情報を早期に提供させるように求めました。区も都へ要請していくと答えました。

「新たな軽減策を講ずることは考えておりません。」とのきわめてひどい答弁でした。軽減策の拡大にむけ、区民のさらなる運動が必要です。

「環二計画は、住民へ情報をしっかり提出せよ」とのきわめてひどい答弁でした。軽減策の拡大にむけ、区民のさらなる運動が必要です。

もっとも収入の低い第一ランクの老齢年金受給者への軽減策を要求しました。しかし、区長は、「新たな軽減策を講ずることは考えておりません。」とのきわめてひどい答弁でした。

台場地区を住宅用途地区にせよ

台場地区は用途が「準工業地」となっています。実態は住宅を中心とした地域です。この地区は、環境の改善が求められ、そのためにも環境基準の規制が厳しい「住宅地区」に用途変更するべきです。

いのくま区議は三月の予算議会に続き、決算委員会でも質問しました。区は、東京都に、住宅地に用途変更するよう要請すると答えました。